

第2章

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」 (中学校)

I 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(中学校)の概要

1 調査実施の趣旨

東京都教育委員会では、平成15年度から、国語、社会、数学、理科、外国語〈英語〉の教科の目標や内容の実現状況を把握し、それを指導方法の充実・改善に結びつけることを目的に、教科別・観点別の学力定着状況調査を4年間実施した。平成18年度から平成20年度にかけては、「問題解決能力等の調査」を実施し、平成19年度から平成22年度にかけては、「基礎的・基本的な事項に関する調査」を実施した。

これまでの調査の結果から、東京都における生徒の学力の定着状況については、おおむね良好であるが、「長い文章を読んで内容を把握することや情報を整理して判断すること」について、課題があることが明らかになった。この課題を踏まえ、平成22年度には、「文章や図表、グラフなどから必要な情報を正確に読み取り、解釈しながら問題を解決する」過程において、生徒がどの段階でどのような学習のつまずきがあるのかを明らかにするために、「読み解く力に関する調査」を実施した。平成23年度からは、中学校学習指導要領が先行実施されたことを踏まえ、学習指導要領に示された目標や内容の実現状況と「読み解く力」の定着状況を把握するために、国語、社会、数学、理科、外国語〈英語〉の各教科について調査を実施している。

2 調査問題作成の基本方針

- (1) 調査問題を、よりよい授業展開の在り方を提案する「授業提案型」および生徒の学習のつまずきが、どこでどのように見られたのか分析できる「課題分析型」の2種類とする。
- (2) 学習指導要領に示された目標や内容の実現状況を「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つの評価の観点から調査する。
- (3) 「読み解く力」の定着状況を、「必要な情報を正確に取り出す力」、「比較・関連付けて読み取る力」、「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」の3つの観点から調査する。

3 調査項目

中学校第2学年 ※各教科とも小学校および中学校第1学年に学習した内容を含む。

教科	調査項目
国語	・話すこと・聞くこと（「聞くこと」については、音声を聞いて答える問題） ・漢字の読み（小学校「学年別漢字配当表」）・漢字の書き（小学校「学年別漢字配当表」） ・言葉に関する知識（文の成分の順序や照応） ・文学的な文章の読み ・説明的な文章の読み ・書くこと 【読み解く力】(1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
社会	[地理的分野]・世界の地域構成 ・世界各地の人々の生活と環境 ・世界の諸地域 ・世界の様々な地域の調査 ・日本の地域構成 [歴史的分野]・歴史のとらえ方 ・古代までの日本 ・中世の日本 【読み解く力】(1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
数学	・正負の数 ・文字と式 ・一次方程式 ・比例と反比例 ・平面図形 ・空間図形 ・資料の活用 ・式の計算（第2学年） 【読み解く力】(1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
理科	[第1分野]・光と音 ・物質のすがた ・水溶液 ・状態変化 [第2分野]・生物の観察 ・植物の体のつくりと働き ・植物の仲間 ・地層の重なりと過去の様子 ・火山と地震 【読み解く力】(1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力
外国語 (英語)	・聞くこと（音声を聞いて答える問題） ・読むこと ・書くこと 【読み解く力】(1) 取り出す力 (2) 読み取る力 (3) 解決する力 ※時制は現在形・進行形・過去形（be動詞含む）まで

Ⅱ 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(中学校)の結果について

1 調査結果の概要

教科	《教科の観点ごとの正答率》					《教科の読み解く力ごとの正答率》						
	内容	都全体	平均正答率グラフ(%)			差	評価の観点	都全体	平均正答率グラフ(%)			差
		青梅市	0	50	100			青梅市	0	50	100	
国語	国語への関心・意欲・態度	95.9	東京都			0.1	必要な情報を正確に取り出す力	69.8				-6.9
		96.0	青梅市					62.9				
	話す・聞く能力	70.4				-2.3	比較・関連付けて読み取る力	71.6				-5.3
		68.1						66.3				
	書く能力	70.1				-5.5	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	77.8				-4.1
		64.6						73.7				
	言語についての知識・理解・技能	76.2				-4.6	B 読み解く力に関する内容					-5.8
		71.6						72.3				
	読む能力	57.1				-3.5		66.5				
		53.6										
A 教科の内容	72.7				-3.8	教科の合計(A+B)	72.7				-4.2	
	68.9						68.5					
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	92.6				-0.9	必要な情報を正確に取り出す力	64.3				-3.9
		91.7						60.4				
	社会的な思考・判断・表現	46.6				-3.9	比較・関連付けて読み取る力	56.1				-3.1
		42.7						53.0				
	資料活用の技能	55.1				-5.0	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	43.6				-1.2
		50.1						42.4				
	社会的事象についての知識・理解	58.0				-4.3	B 読み解く力に関する内容	54.6				-2.7
		53.7						51.9				
	A 教科の内容	57.0				-4.0	教科の合計(A+B)	56.5				-3.8
		53.0						52.7				
数学	数学への関心・意欲・態度	83.3				-1.0	必要な情報を正確に取り出す力	43.2				-6.1
		82.3						37.1				
	数学的な見方や考え方	48.1				-5.1	比較・関連付けて読み取る力	28.9				-5.3
		43.0						23.6				
	数学的な技能	59.6				-7.2	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	33.6				-8.0
		52.4						25.6				
	数量や図形などについての知識・理解	62.3				-9.7	B 読み解く力に関する内容	35.4				-6.2
52.6					29.2							
A 教科の内容	60.1				-6.6	教科の合計(A+B)	53.3				-6.5	
	53.5						46.8					
理科	自然事象への関心・意欲・態度	88.0				0.3	必要な情報を正確に取り出す力	77.5				-3.8
		88.3						73.7				
	科学的な思考・表現	49.0				-4.4	比較・関連付けて読み取る力	31.8				-3.9
		44.6						27.9				
	観察・実験の技能	75.4				-5.3	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	53.6				-3.1
		70.1						50.5				
	自然事象についての知識・理解	53.5				-3.7	B 読み解く力に関する内容	54.3				-3.6
		49.8						50.7				
A 教科の内容	57.2				-3.8	教科の合計(A+B)	56.5				-3.7	
	53.4						52.8					
英語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	79.7				-7.8	必要な情報を正確に取り出す力	62.9				-4.6
		71.9						58.3				
	外国語表現の能力	47.6				-15.2	比較・関連付けて読み取る力	76.9				-6.9
		32.4						70.0				
	外国語理解の能力	65.1				-7.6	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	49.9				-7.9
		57.5						42.0				
	言語や文化についての知識・理解	64.5				-7.4	B 読み解く力に関する内容	63.3				-6.5
57.1					56.8							
A 教科の内容	62.9				-9.1	教科の合計(A+B)	62.9				-8.4	
		53.8						54.5				

2 各教科の問題ごとの正答率一覧

(1) 国語（中学校第2学年対象）

問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点					正答率 (都全体) (青梅市)	正答率グラフ(%)	差	分類
				①	②	③	④	⑤				
				0		50		100				
1(1)	1	1年 A話・聞	話の内容を正確に捉えることができる。		○				81.4 % 80.9 %		-0.5	●
1(2)	2	1年 A話・聞	話を聞き必要に応じて適切な質問をすることができる。		○				45.5 % 37.9 %		-7.6	
1(3)	3	1年 A話・聞	二つの意見を聞いて内容を理解するとともに、観点を明確にして比較することができる。		○				84.3 % 85.6 %		1.3	
1(4)	4	1年 A話・聞	適切な関心・意欲・態度をもって、話すこと、聞くことについて学習に取り組もうとしている。	○					96.4 % 97.0 %		0.6	●
2(1)	5	1年 伝統(1) ウ	小学6年までの学習漢字について、正しく読むことができる。					○	92.2 % 87.0 %		-5.2	○
2(2)	6							○	89.5 % 85.4 %		-4.1	○
2(3)	7							○	76.9 % 76.7 %		-0.2	○
3(1)	8	1年 伝統(1)ウ	小学6年までの学習漢字について、正しく書くことができる。					○	58.6 % 49.1 %		-9.5	○
3(2)	9							○	61.5 % 53.0 %		-8.5	○
3(3)	10							○	74.0 % 70.0 %		-4	○
4(1)	11	1年 伝統(1)イ	語句の係り受けについて理解し、適切に文を書くことができる。					○	83.6 % 80.3 %		-3.3	○
4(2)	12		熟語の意味や組み立てを理解し、文の中で正しく使うことができる。					○	81.1 % 76.1 %		-5.0	○
4(3)	13		語句の係り受けについて理解し、適切に文を書くことができる。					○	89.9 % 87.6 %		-2.3	○
4(4)	14		語句の係り受けについて理解し、適切に文を書くことができる。					○	54.2 % 50.4 %		-3.8	○
5(1)	15	1年 C読エ	表現のねらいや工夫を、場面と結び付けて読み取ることができる。					○	52.4 % 47.7 %		-4.7	
5(2)	16	1年 C読ウ	ある場面での登場人物の行動の理由を読み取ることができる。					○	91.8 % 89.4 %		-2.4	●
5(3)	17	1年 C読ウ	ある場面での登場人物の気持ちを読み取ることができる。					○	50.0 % 44.4 %		-5.6	
5(4)	18	1年 C読ウ	ある場面での登場人物の様子を読み取ることができる。					○	34.0 % 33.1 %		-0.9	
6(1)	19	1年 C読イ	課題に即して文章を読み、課題解決のために必要な情報を正確に取り出すことができる。	取り出す力					63.3 % 54.7 %		-8.6	●
6(2)	20	1年 C読イ		取り出す力					76.3 % 71.1 %		-5.2	●
6(3)	21	1年 C読イ	課題を解決するために、文章やグラフから取り出した情報を比較・関連付けて読み取ることができる。	読み取る力					71.6 % 66.3 %		-5.3	●
6(4)	22	1年 C読オ	読み取った情報をもとに、理解・解釈・推論し、課題を解決することができる。	解決する力					77.8 % 73.7 %		-4.1	
7(1)	23	1年 B書イ	集めた材料をもとに自分の考えをまとめ、材料を分類するなどして整理して書くことができる。				○		41.3 % 32.1 %		-9.2	
7(2)①	24	1年 B書ウ	伝えたい事実や事柄について、自分の考えを根拠を明確にして書くことができる。				○		74.1 % 68.8 %		-5.3	●
7(2)②	25	1年 B書ウ	伝えたい事実や事柄について、自分の考えを根拠を明確にして書くことができる。				○		81.0 % 76.1 %		-4.9	●
7(3)	26	1年 B書ウ	伝えたい事実や事柄について、自分の考えを根拠を明確にして書くことができる。				○		84.0 % 81.6 %		-2.4	
7(4)	27	1年 B書	適切な関心・意欲・態度をもって、書くことについての学習に取り組もうとしている。	○					95.3 % 95.0 %		-0.3	●

評価の観点 ①国語への関心・意欲・態度 ②話す・聞く能力 ③書く能力 ④読む能力

(分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数である

(2) 社会 (中学校第2学年対象)

問題番号	通し番号	要領の内容	出題のねらい	評価の観点				正答率 (都全体) (青梅市)	正答率グラフ(%)	差	分類
				①	②	③	④				
1(1)	1	地理 (1)アイ	世界地図を用いて、地球上の位置を捉えることができる。			○		61.0 % 55.9 %		-5.1	○
1(2)	2				○		13.7 % 13.1 %		-0.6	●	
1(3)	3		人々の生活の様子を自然と関連付けて捉えることができる。		○			75.3 % 70.3 %		-5.0	●
1(4)	4		世界各地の人々の生活について理解している。			○		83.5 % 79.1 %		-4.4	○
1(5)	5		世界各地の時差を資料から捉え、まとめることができる。		○			52.0 % 52.0 %		0.0	●
1(6)	6		世界各地の人々の生活と環境を意欲的に探究しようとしている。	○				94.2 % 92.7 %		-1.5	●
2(1)	7	地理 (1)ウ	南アメリカ州の地域的特色を正しく理解している。			○		67.8 % 62.1 %		-5.7	●
2(2)	8		南アメリカ州の地域的特色の理由について、考察することができる。		○			18.8 % 14.5 %		-4.3	●
2(3)	9		南アメリカ州の地域的特色を資料から捉え、説明することができる。			○		35.9 % 33.9 %		-2.0	
3(1)	10	地理 (2)ア	日本の気候の特色をもとに雨温図を正しく表している。			○		73.3 % 62.9 %		-10.4	○
3(2)	11		日本の気候の特色の理由を正しく説明することができる。		○			53.8 % 52.5 %		-1.3	●
3(3)	12		日本の都道府県名を正しく理解している。			○		51.0 % 48.1 %		-2.9	●
4(1)	13	歴史(3)	中世の歴史の流れを正しく理解している。			○		48.7 % 40.0 %		-8.7	○
4(2)	14		鎌倉幕府の特色を正しく理解している。		○			64.8 % 58.9 %		-5.9	●
4(3)	15		資料をもとに、鎌倉幕府の政治的特色を正しく捉えている。		○			34.4 % 28.7 %		-5.7	
4(4)	16		中世の歴史の学習を踏まえ、意欲的に探究しようとしている。	○				91.0 % 90.6 %		-0.4	●
5(1)	17	歴史 (2)(3)	古代の歴史的事象を正しく理解している。			○		38.9 % 38.8 %		-0.1	●
5(2)	18		古代から中世における歴史的事象と外国との関わりについて、複数の資料を関連付け、捉えることができる。			○		76.8 % 70.8 %		-6.0	○
5(3)	19		古代の歴史的事象について、資料をもとに捉えることができる。			○		60.3 % 55.3 %		-5.0	
5(4)	20		古代から中世の外交の特色をまとめることができる。		○			45.2 % 38.2 %		-7.0	●
6(1)	21	地理(2)イ (エ)	1965年の日本の交通網の様子を正確に取り出すことができる。	取り出す力				73.3 % 69.4 %		-3.9	○
6(2)	22		1965年と2010年の日本の交通網の変化をまとめることができる。	読み取る力				66.0 % 60.8 %		-5.2	●
6(3)	23		日本の交通網の整備に伴う輸送機関別の利用状況を推論することができる。	解決する力				42.7 % 39.2 %		-3.5	
7(1)	24	歴史 (4)	江戸時代における河川の状況を正確に取り出すことができる。	取り出す力				55.3 % 51.4 %		-3.9	○
7(2)	25		江戸時代における河川の変化の様子をまとめることができる。	読み取る力				46.1 % 45.2 %		-0.9	●
7(3)	26		江戸時代における用水建設の理由を推論することができる。	解決する力				44.4 % 45.6 %		1.2	

評価の観点 ①社会的事象への関心・意欲・態度 ②社会的な思考・判断・表現 ③資料活用の技能
 ④社会的事象についての知識・理解
 (分類) ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 目標達成値は ○と●の合計数

(3) 数学（中学校第2学年対象）

問題番号	通し番号	要領の学習指導内容	出題のねらい	評価の観点				正答率 (都全体) (青梅市)	正答率グラフ(%)	差	分類
				①	②	③	④				
				0		50	100				
1(1)	1	小5B(4)ア	小数の乗法ができる。			○	78.1 % 57.3 %		-20.8	○	
1(2)	2	小5B(4)ア	分数と小数の減法ができる。			○	71.4 % 45.7 %		-25.7	○	
1(3)	3	1年A(1)ウ	正負の数の減法ができる。			○	96.4 % 94.5 %		-1.9	○	
1(4)	4	1年A(1)ウ	正負の数の乗除ができる。			○	73.5 % 63.9 %		-9.6	○	
2(1)	5	1年A(2)エ	文字を使った式で表すことができる。			○	50.7 % 36.5 %		-14.2	●	
2(2)	6	1年A(2)ウ	文字式の計算ができる。			○	76.0 % 70.7 %		-5.3	○	
2(3)	7	1年A(3)ウ	一次方程式を解くことができる。			○	64.4 % 54.1 %		-10.3	○	
2(4)	8	1年A(3)ウ	比例式を解くことができる。			○	65.7 % 54.7 %		-11	●	
3(1)	9	1年A(2)ウ	あけみさんの考えを表した式が分かる。			○	77.4 % 70.4 %		-7	●	
3(2)	10	1年A(2)エ	式が表す考え方を表現することができる。		○		74.6 % 68.5 %		-6.1		
4(1)	11	1年A(3)ア	AプランとBプランの料金を求めることができる。	取り出す力			25.4 % 19.7 %		-5.7	○	
4(2)①	12		式が表す数量が分かる。	取り出す力			67.8 % 60.1 %		-7.7	●	
4(2)②	13	1年A(3)ウ	方程式を立式することができる。	読み取る力			18.6 % 10.7 %		-7.9	●	
4(3)	14		Aプランの方が安くなる枚数を求めることができる。	解決する力			10.1 % 7.0 %		-3.1		
5(1)	15	1年C(1)イ	yがxに比例する事象を選ぶことができる。			○	80.7 % 74.8 %		-5.9	○	
5(2)	16	1年C(1)エ	反比例のグラフから式を求めることができる。			○	42.2 % 37.9 %		-4.3	●	
5(3)	17	1年C(1)オ	水を入れる量の割合をどのように変えればよいかを理解できる。			○	56.1 % 49.7 %		-6.4		
6(1)	18	1年B(1)ア	接線の作図をすることができる。			○	34.0 % 30.6 %		-3.4	●	
6(2)	19		作図をした図形のある部分の長さがわかる。			○	33.2 % 26.2 %		-7.0	●	
6(3)	20		作図の結果を見て、その過程について理解することができる。			○	32.8 % 28.2 %		-4.6		
6(4)	21		図形の作図に意欲的に取り組もうとしている。	○				86.5 % 85.5 %		-1.0	●
7(1)	22	1年B(2)ア	ねじれの位置にある辺について理解している。			○	55.4 % 46.5 %		-8.9	○	
7(2)	23	1年B(2)ウ	三角錐の体積を求めることができる。			○	29.5 % 23.4 %		-6.1	●	
7(3)	24		底面積と体積について理解できる。			○	28.7 % 25.7 %		-3.0		
8(1)	25	1年D(1)ア	ヒストグラムから回数を読み取ることができる。	取り出す力			36.3 % 31.5 %		-4.8	○	
8(2)	26		度数分布表を完成させることができる。	読み取る力			49.2 % 45.9 %		-3.3	●	
8(3)	27		中央値を求めることができる。	読み取る力			18.6 % 14.1 %		-4.5	●	
8(4)	28	1年D(1)イ	厚いと言える理由について説明することができる。	解決する力			57.1 % 44.2 %		-12.9		
8(5)	29	1年D(1)ア	「資料の活用」に意欲的に取り組もうとしている。	○			80.1 % 79.1 %		-1.0	●	

評価の観点 ①数学への関心・意欲・態度 ②数学的な見方や考え方 ③数学的な技能

④数量・図形などについての知識・理解

分類 ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習レベルの問題 ※到達目標値は○と●の合計数

(4) 理科 (中学校第2学年対象)

問題番号	通し番号	要領の学習指導内容	出題のねらい	評価の観点				正答率 (都全体 青梅市)	正答率グラフ(%)	差	分類
				①	②	③	④				
1(1)	1	2分野 (1)イ(イ)	葉緑体を脱色する方法について理解している。			○		86.3 % 75.6 %		-10.7	○
1(2)	2		光合成でデンプンが作られる場所を理解している。				○	70.6 % 65.3 %		-5.3	●
1(3)	3		光合成の条件について、適切な比較方法を考えることができる。		○			81.0 % 78.0 %		-3.0	●
1(4)	4		光合成について、関心をもつことができる。	○				89.2 % 88.8 %		-0.4	●
2(1)	5	2分野 (1)イ(イ)	茎のつくりとはたらきについて理解している。				○	55.5 % 53.8 %		-1.7	○
2(2)	6		植物の葉の特徴について理解し、区別することができる。		○			54.4 % 53.7 %		-0.7	●
2(3)	7	2分野(2) ウ(ア)	種子植物の特徴を理解している。				○	52.3 % 44.2 %		-8.1	●
3(1)	8	1分野 (2)ウ(イ)	融点における物質の変化の様子を理解している。		○			40.5 % 39.1 %		-1.4	●
3(2)	9		物質の温度の変化をグラフに表すことができる。		○			46.1 % 42.0 %		-4.1	
4(1)	10	1分野 (2)イ(イ)	水中で受ける力を理解している。				○	69.6 % 68.5 %		-1.1	●
4(2)	11		物体が水の中で受ける力を捉えることができる。		○			59.2 % 53.6 %		-5.6	
5(1)	12	1分野 (1)ア(ア)	光が反射するときの角について理解している。				○	24.1 % 20.2 %		-3.9	○
5(2)	13		レンズにあたる光の進み方を理解している。				○	64.0 % 59.5 %		-4.5	○
5(3)	14		光の反射と屈折について日常生活と結びつけて理解している。		○			19.9 % 14.5 %		-5.4	●
6(1)①	15	2分野 (2)ア(ア)	斑状組織が出来るときの結晶のでき方を理解している。				○	38.0 % 37.2 %		-0.8	●
6(1)②	16		深成岩について理解している。				○	64.4 % 64.7 %		0.3	○
6(2)	17		火山灰から結晶を取り出す方法を理解している。			○		64.5 % 64.6 %		0.1	●
6(3)	18		マグマが冷え固まってできた岩石について関心がある。	○				86.9 % 87.8 %		0.9	●
7(1)	19	2分野 (2)ア(イ)	初期微動の伝わる速さを求めることができる。				○	43.5 % 34.6 %		-8.9	●
7(2)	20		異なる地点における地震の到達時刻を求めることができる。		○			37.1 % 31.7 %		-5.4	
7(3)	21		距離と速さの関係から自身の発生時刻を求めることができる。		○			54.1 % 44.6 %		-9.5	
8(1)	22	1分野 (2)ア(ア)	資料から物質の密度を正確に取り出すことができる。	取り出す力				73.9 % 68.0 %		-5.9	○
8(2)	23		密度を比較し、物質の浮き沈みについてまとめることができる。	読み取る力				45.2 % 38.6 %		-6.6	●
8(3)	24		水と油と氷の密度の違いを適切に比較し、推論して位置を考慮することができる。	解決する力				54.9 % 50.6 %		-4.3	
9(1)	25	2分野 (2)イ(ア)	柱状図から地層の状況を正確に取り出すことができる。	取り出す力				81.8 % 79.4 %		-2.4	○
9(2)	26		柱状図と地形の特徴から地層の傾きを捉えることができる。	読み取る力				18.5 % 17.2 %		-1.3	●
9(3)	27		指定された位置の地層の状況を推論することができる。	解決する力				52.2 % 50.4 %		-1.8	

評価の観点 ①自然現象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考・表現 ③観察・実験の技能

④自然現象についての知識・理解

分類 ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 ※到達目標値は○と●の合計数

(5) 英語 (中学校第2学年対象)

問題番号	通し番号	要領の学習指導内容	出題のねらい	評価の観点				正答率 (都全体) (青梅市)	正答率グラフ(%)			差	分類	
				①	②	③	④			0	50			100
1	1	聞くこと	相手の話を聞き、積極的に応答しようとする。	○				96.9 %		0.0	●			
2(1)	2	聞くこと ウ	疑問詞のある疑問文に適切に応答できる。			○		56.0 %		-8.3	○			
2(2)	3	聞くこと ウ	疑問詞のある疑問文に適切に応答できる。			○		47.7 %						
2(3)	4	聞くこと ウ	相手からの依頼に適切に応答できる。			○		53.1 %		-10.3	○			
								42.8 %						
3(1)	5	聞くこと オ	まとまりのある英文を聞いて、詳細を理解することができる。			○		53.1 %		-13.2	●			
								39.9 %						
3(2)	6	聞くこと オ	まとまりのある英文を聞いて、詳細を理解することができる。			○		35.7 %		-10.8	●			
								24.9 %						
3(3)	7	聞くこと オ	まとまりのある英文を聞いて、概要を理解することができる。			○		66.1 %		-8.3	●			
								57.8 %						
4	8	書くこと (ア)(イ)	伝えたい内容を正確な英文で書くことができる。		○			94.0 %		-1.2	○			
								92.8 %						
5(1)	9	書くこと (イ)	会話の状況設定を理解し、動詞を活用して書くことができる。		○			38.7 %		-24.0				
								14.7 %						
5(2)	10	書くこと (イ)	会話の状況設定を理解し、動詞を活用して書くことができる。		○			52.9 %		-20.8	●			
								32.1 %						
6(1)	11	読むこと (イ)	前置詞の意味を理解する。			○		45.9 %		-3.6	●			
								42.3 %						
6(2)	12	読むこと (イ)	前置詞の意味を理解する。			○		59.0 %		-10.5	○			
								48.5 %						
7(1)	13	読むこと (ウ)	まとまりのある英文を読んで、詳細を理解する。			○		76.9 %		-12.3	○			
								64.6 %						
7(2)	14	読むこと (ウ)	まとまりのある英文を読んで、趣旨を理解する。			○		79.0 %		-4.2	●			
								74.8 %						
8(1)	15	読むこと (イ)	what + 名詞で始まる疑問文の語順を理解している。			○		83.4 %		-3.8	○			
								79.6 %						
8(2)	16		代名詞および形容詞の入る位置を理解する。			○		41.9 %		-3.5	●			
								38.4 %						
8(3)	17	3人称・単数・現在の否定文の語順を理解する。			○		56.9 %		-0.1	●				
							56.8 %							
8(4)	18	whatから始まる疑問文の中で福祉の入る位置を理解する。			○		76.0 %		-10.7	●				
							65.3 %							
9	19	書くこと (ア)(イ)	場面にふさわしい表現を用いて書くことができる。		○			76.3 %		-7.5	●			
								68.8 %						
10	20	書くこと	相手に自分のことを積極的に伝えようとする。	○				52.7 %		-12.1				
								40.6 %						
11(1)	21	読むこと	英文から、必要な情報を正確に取り出すことができる。				取り出す力	62.4 %		-15.5	●			
								46.9 %						
11(2)	22		複数の情報を比較・関連付けながら、英文の内容を読み取ることができる。				読み取る力	75.5 %		-8.6	●			
							66.9 %							
11(3)	23	得られた情報をもとに、結論を導き出すことができる。				解決する力	86.9 %		-4.0					
							82.9 %							
12(1)	24	読むこと	英文から、必要な情報を正確に取り出すことができる。				取り出す力	54.8 %		-6.8				
								48.0 %						
12(2)	25		複数の情報を比較・関連付けながら、内容を読み取ることができる。				読み取る力	50.4 %		-0.8	●			
							49.6 %							
12(3)	26	複数の情報をもとに、結論を導き出すことができる。				解決する力	67.0 %		-9.9					
							57.1 %							
							45.1 %		-9.1					
							36.0 %							

評価の観点 ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②外国語表現の能力 ③外国語理解の能力

④言語や文化についての知識・理解

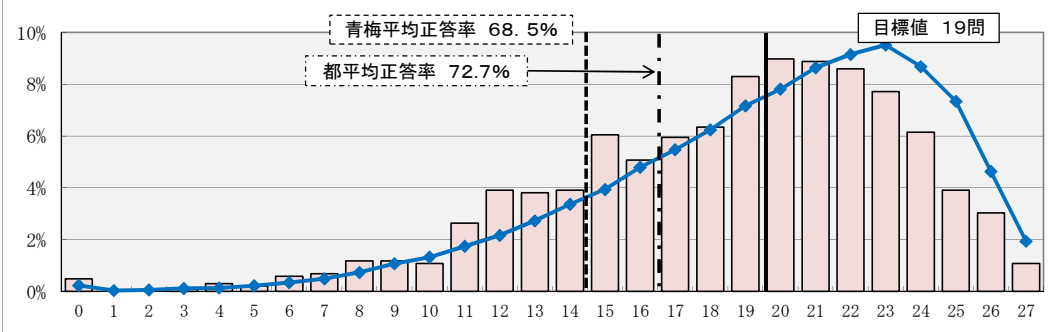
分類 ○教科書例題レベルの問題 ●教科書練習問題レベルの問題 到達目標値は○と●の合計数

青梅市の合計正答数の人数分布 (中学校 第2学年)

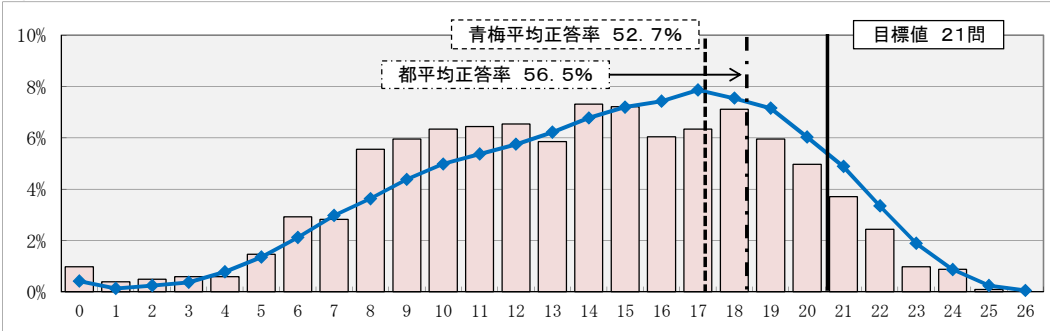
*棒グラフが青梅市、折れ線グラフが東京都を示す。(縦軸：生徒の割合(%)、横軸：正答数(問))

※目標値とは、学習指導要領の内容について標準的に学習活動が行われたと想定した場合の、正答問数である。

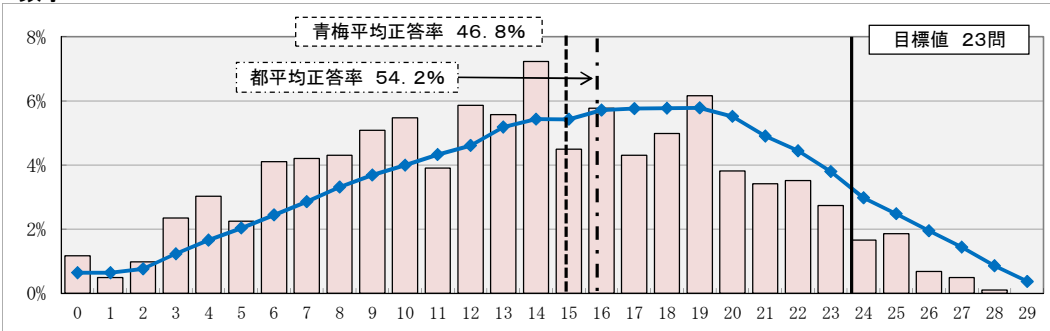
国語



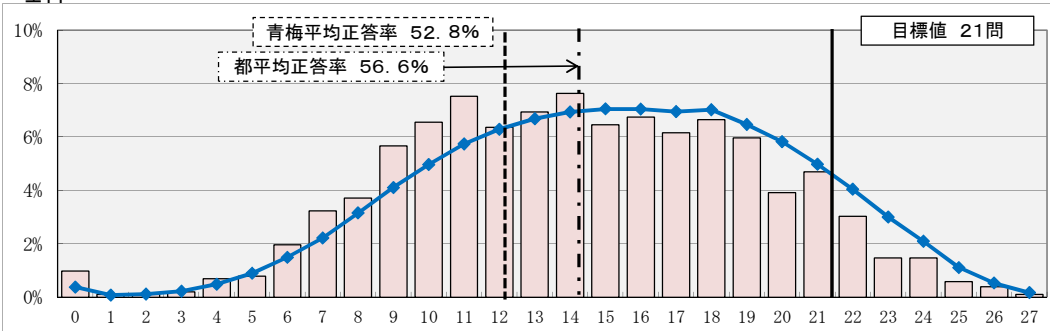
社会



数学



理科



英語

